

日本真空学会 機能薄膜部会
ナノ・キャラクタリゼーション研究部会 第1回研究会
テーマ：「ナノインデンテーションによる材料評価」

日本真空学会は、新たに機能薄膜部会を東北大学 高橋 研教授を部会長として立ち上げました。機能薄膜部会は真空学会内での広い意味での機能を新学問・新技術の効率的な開発を議論する事を目的としています。機能薄膜部会の中に、成膜プロセス、真空成膜装置、薄膜評価等を対象として各種の研究部会を設置する方向で検討してきました。 薄膜固体表面での力学的評価の一環として、 ナノ・キャラクタリゼーション研究部会を（独）物質・材料研究機構 大村孝仁グループリーダーを研究部会委員長として設置しました。DLC 薄膜、トライボロジー効果等を含め、新規な評価対象として、有機薄膜等のソフトマテリアルも考慮したナノインデンテーションを取り上げたいと考えています。

第1回となります本研究会では、東京理科大学 佐々木信也先生と九州大学 田中敬二先生に講演をお願いしました。出席者との質疑応答時間を十分に設けたプログラムにしました。今後の研究会で取り上げるテーマも議論してゆきたいと思います。また、活発な議論ができますように当日はナノインデンテーションを牽引している先生方にもご参加してもらうよう準備を進めています。

ナノインデンテーションを取り扱っている企業からも最新の活用事例を紹介いたします。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

プログラム

時間	題目	講師
13:00～13:10	開会の挨拶	部会長 高橋 研
13:10～13:25	ナノキャラクタリゼーションが果たす役割	物質・材料研究機構 大村 孝仁
13:25～14:10	ナノインデンテーションの展望 「薄膜のトライボロジー」	東京理科大学 佐々木 信也
14:10～14:30	質疑応答 休憩	
14:45～15:30	ナノインデンテーションの展望 「ソフトマテリアルの硬さ測定とナノインデン ターへの期待」	九州大学 田中 敬二
15:30～15:50	質疑応答 休憩	
16:05～17:00	参画メーカーからの最新アプリケーション の紹介	

日 時 : 2013年3月11日(月曜日) 13:00~17:00
場 所 : 東陽テクニカ テクノロジーインターフェースセンター
参加費(資料代): 機能薄膜部会委員: 無料、日本真空学会会員: 1,000円、
学生: 無料、その他: 2,000円

申し込み先:

一般社団法人 日本真空学会 事務局

TEL 03-3431-4395 FAX 03-3433-5371 URL <http://www.vacuum-jp.org>

メール e-mail: ofc-vsji@vacuum-jp.org で申してください。

問い合わせ先:

大川 登志郎

オミクロンナノテクノロジージャパン株式会社

〒144-0052 大田区蒲田 5-30-15

TEL: 03-6661-0850 e-mail: t.okawa@omicron.oxinst.com

会場案内:

東陽テクニカ テクノロジーインターフェースセンター

<http://www.toyo.co.jp/company/access.html#honsya>

[地下鉄]

銀座線/東西線: 日本橋駅 A1 出口から徒歩5分

銀座線/半蔵門線: 三越前駅

B3 出口(半蔵門線のみ) から徒歩1分/B5 出口から徒歩5分

[JR]東京駅 八重洲北口 徒歩7分

